

総務環境 委員会

視察報告

総務環境委員会では8月2日から4日にかけて、島根県隠岐郡海士町、隠岐の島町を行政視察しました。

視察先

島根県隠岐郡海士町

視察内容

- 高校魅力化プロジェクトについて
- 海士町の取り組みについて（人口減少対策）



海士町での視察「高校魅力化プロジェクト」

概要

公共事業で成り立っていた島が人口減少によって税収は細り、国・県からは合併の圧力もかかったが合併せず、島独自のまちづくりで人口減少に歯止めをかけた取り組みを行っている。

海士町と隣の西ノ島町・知夫村を合わせた「島前地域」で唯一の県立高校の入学者数は、10年間で77人から28人まで減少し、高校が消えれば島の子ども、そして家族も出ていってしまう危機感から、「高校魅力化プロジェクト」が始まった。これは県外の子ども

を「島留学生」として積極的に受け入れ、また、3町村で公立塾を設け、高校と連携した学習支援とキャリア教育を行う画期的なシステムを作った。

その結果、これまで大学進学を望む子は島外の高校へ行っていた傾向が変わり、4年後には県外生を含む64人が入学した。

また、「自立促進プラン」に基づく徹底した行財政改革を断行することとし、町長をはじめ、職員・議員などの人件費の削減で2億円を捻出した。その本気度は住民にも伝わり、住民から自主的に老人



視察の様子「海士町の取り組みについて」

バス料金の値上げの申し込みが来るなど、住民の自立心も芽生えてきた。

その他、地域資源を活かした第一次産業の再生で島に産業を創り、雇用の場を増やすことで活性化を図った。その具体的な取り組みとしては次のとおり。

***商品開発研修生（島の助っ人）への給与支給・家賃補助など**

ヒット商品「島じゃ常識・さざえカレー」が生まれる。

***岩ガキ養殖**

U・イターン者と地元漁師が協力して、岩ガキ養殖に成功。春から夏期に限定した岩ガキは築地市場や都市圏で大ヒット。都会からIターンで7人移住。

***CAS（キャスシステム）の導入**

イカ・タイ・岩ガキなどの豊富な海産物は本土まで輸送する間に鮮度が落ちて値段も落ちていた。「CAS」の設備は細胞を破壊せ

ず冷凍し、解凍してもとれたての状態を保つことができ、首都圏の外食チェーンや百貨店・スーパー・ギフト販売など販路拡大と雇用創出につながった。

考察

海士町では、職員等の給料をカットして「未来への投資」をする本気度を示したことで住民も変わった。高山市で同じことはできないが、市役所の本気度をどう出してどう伝えるか。例えば、移住促進の取り組みについては、不安が多い移住者に対し、職員がどこまで真剣に向き合い、地域の住民たちとの関わりをうまく持たせられるかなど、多くの実践を学ぶことができた。

隠岐ユネスコ世界ジオパークは、平成21年に日本ジオパークに、平成27年には、世界ジオパークに認定された。認定後は4年ごとの活動状況で再認定されるかどうかが決まる。また、ジオパークには地質学者や海外からなどの観光客が多く訪れる。

視察先

島根県隠岐郡隠岐の島町

視察内容

隠岐ユネスコ世界ジオパークの取り組みについて

概要

ジオパークとは、「地球・大地（ジオ・Geo）」と「公園（パーク・Park）」とを組み合わせた言葉で、「大地の公園」を意味し、地球（ジオ）を学び、丸ごと楽しむことができる場所をいう。隠岐ユネスコ世界ジオパークは海洋生物や漁業など、人の営み、また海域を含めており、そのようなジオパークは国内にはほかになく、世界的にも珍しい。

隠岐ユネスコ世界ジオパークは、平成21年に日本ジオパークに、平成27年には、世界ジオパークに認定された。認定後は4年ごとの活動状況で再認定されるかどうかが決まる。また、ジオパークには地質学者や海外からなどの観光客が多く訪れる。

***大企業との連携**

イオン電子マネー（ワオン）に隠岐の風景をデザイン。利用金額の一部が寄附される。